植物研究雑誌
J. Jpn. Bot.
72: 172–189 (1997)

中部地方における普通植物の分布（2）垂直分布

金井弘夫

184 小金井市[redacted]

Distribution of Popular Plants in Chubu District, Central Japan (2) Vertical Distribution

Hiroo KANAI

[redacted] Koganei-shi, Tokyo 184, JAPAN

(Received on July 16, 1996)

Vertical distribution maps of 15 popular plants in different four belts of Chubu district, central Japan, are prepared from accumulated prefectural data to visualize more detailed features which may reflect physiographical factors affected to their distribution. Several species are found to be less tolerable to altitudinal factors in inland region.

(Continued from J. Jpn. Bot. Vol.71 No.6, 1996)

前報では，広い地域の水平分布を認識するためには有用であるが，垂直図では太平洋側地域，内陸地域，日本海側地域の分布が重なり合い，地形や気候に対応する分布状況を知るには不都合があった．そこで同じデータ群から，南から北へ四つの帯状区を仕切り（図1），それぞれの中での垂直分布図を作図した．Zone 1は34° 40′ －35° 00′ N, Zone 2は35° 20′ －35° 40′ N, Zone 3は36° 10′ －36° 30′ N, Zone 2は36° 40′ －37° 00′ Nと，それぞれ緯度20′ の幅をとった．中部地方では主な山脈が南北に走り，これによって気候が規定されているので，このような帯状表示は分布の実態をつかむために適当であると考える．他の地域では，それぞれに応じた方向と仕切り方を工夫する必要がある．

垂直分布では，その地域の最高最低点との関連で分布を読む必要があるので，各zoneにおける表示メッシュ（5倍メッシュ）ごとに，1/20万地勢図からこれらを読み取り，図2に図示した．本来は種の分布図ごとに図示するのがよいが，数値地図データを作図プログラムに取り込むまでに至っていない．

わが国では産地のデータとして高度を記録することは，従来あまり重きをおかれていなかったため，普通植物分布調査の際にも協力者の負担になることをおそれて，高度記録は必須条件としなかった．このため，このような小地帯分布図では地域による高度データの欠落が目立つことがある．またその地帯ではあり得ない高度記録や，実際の産地とは関係なく山の最高点を記録したのではないかと思われるものもある．こういう点については，今後分布図つくりが各地で進行する中で，認識を改めてもらうことが必要である．

イタドリ，オオバコ，シロツメクサ，フキは，地形が許せばそれに応じて産地が上昇する．オオイヌノフグリ，カナムグラ，コマツナギ，スベリヒユ，ナズナ，ヤブカラシは，1000m程度に上限が見られる．県単位程度の狭い地域ならば，産地上限あるいは下限を数値的につかめる可能性はあるが，地域が拡がると地形，気候の影響がまちまちなので，上限下限を示すことが困難である．ゲンノショウコ，タケ

ニグサ, ツメクサ, ツユクサ, ドクダミは, 両者の中間を示す. いずれの種も, 太平洋側より日本海側において上限が下がる傾向があるが, 高度を伴うデータを一層充実させて確かめる必要がある.

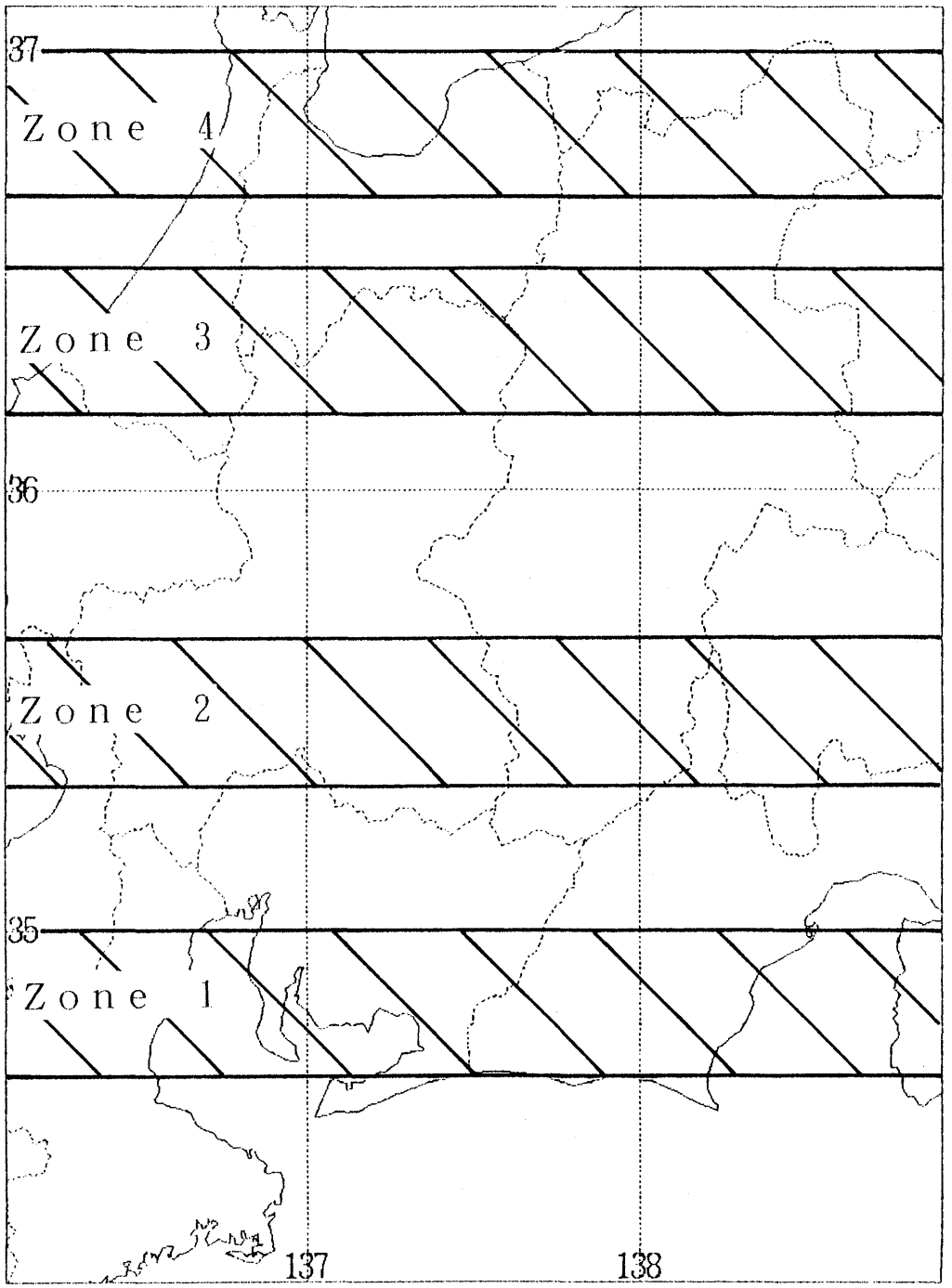

図1. 対象地域と垂直分布図作成ゾーン. Mapped region and zones of vertical maps.

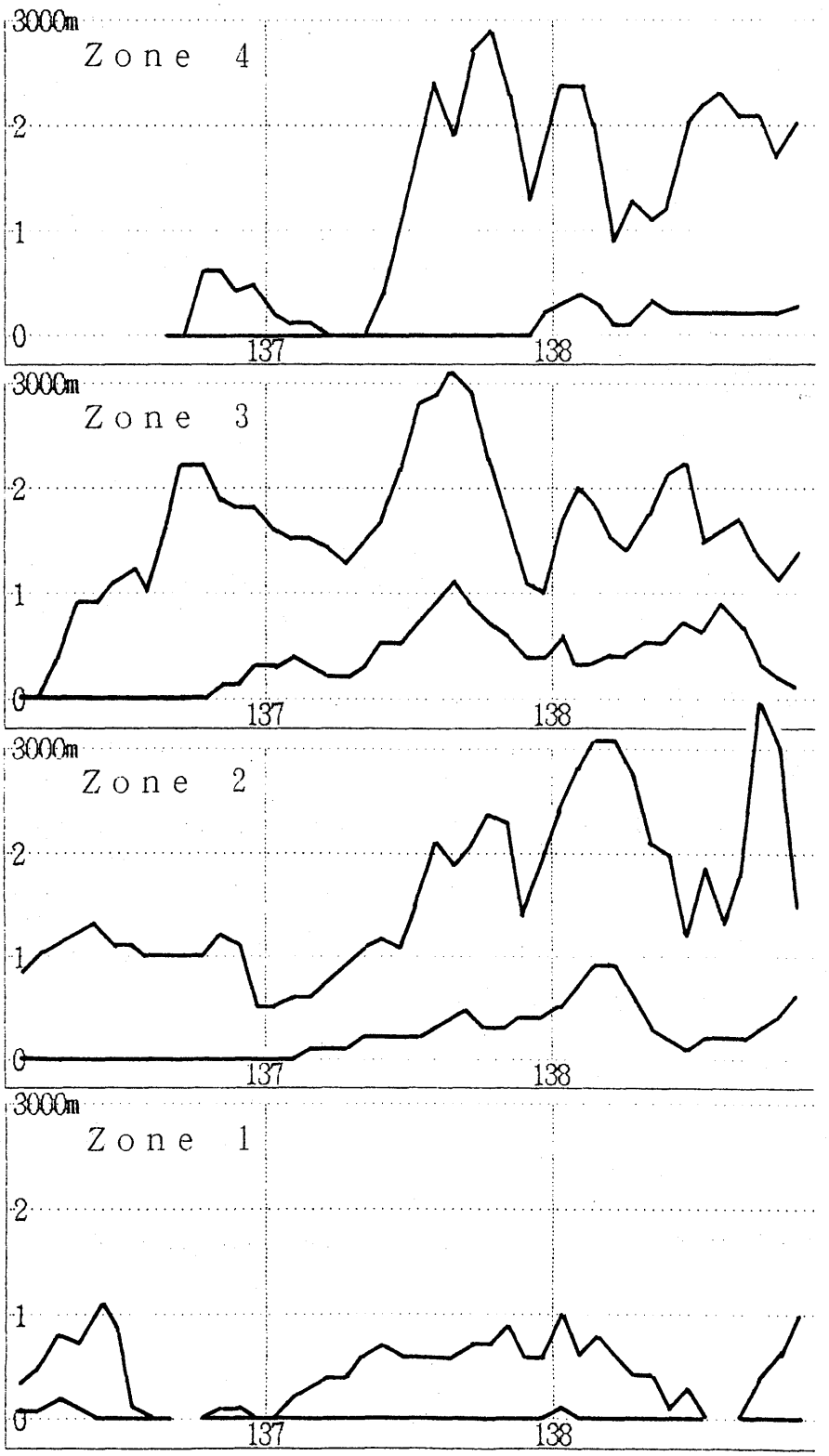

図2. 各ゾーンの断面図. E－W cross sections of each zone.

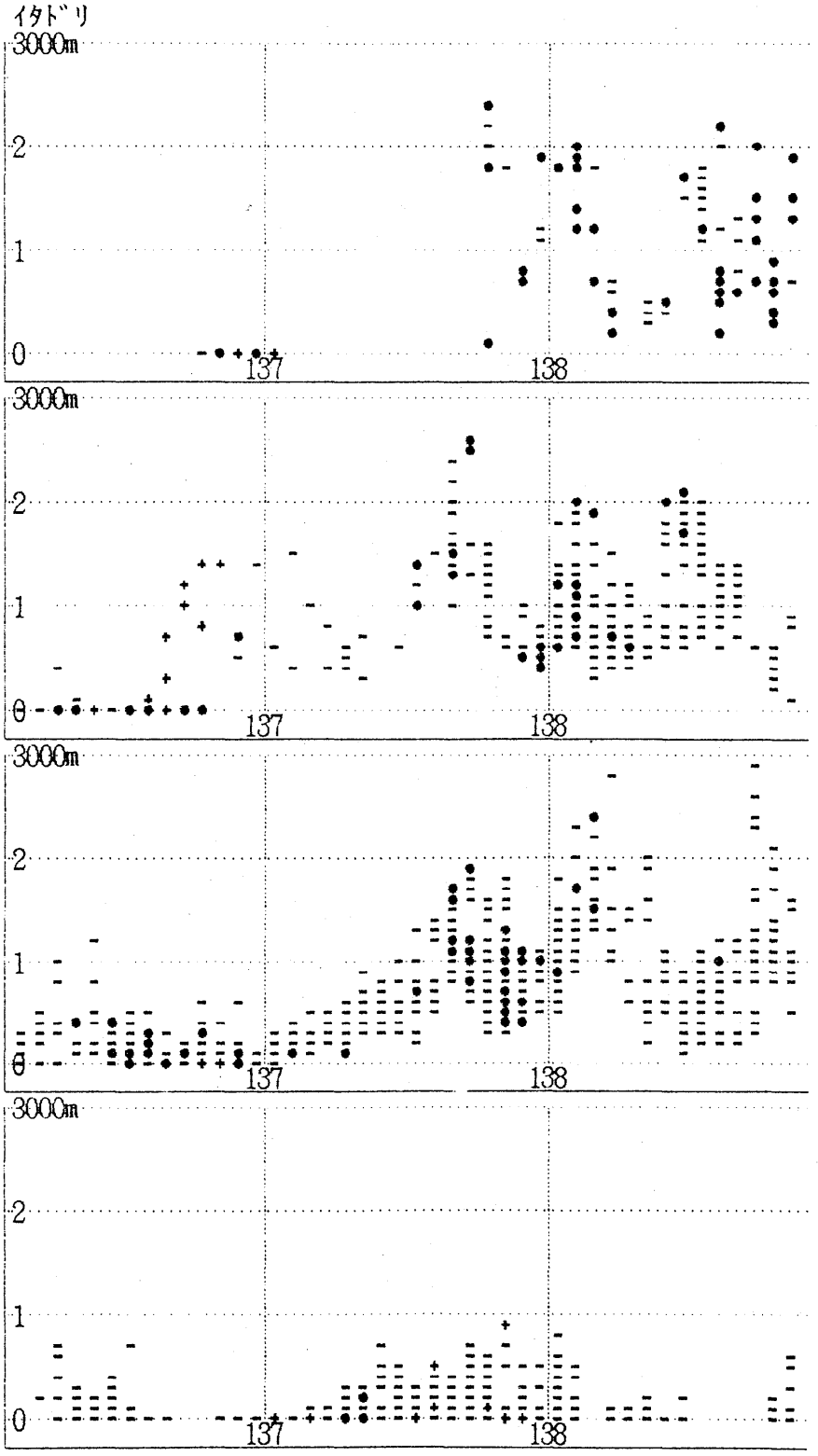

図3. *Reynoutria joponica.*

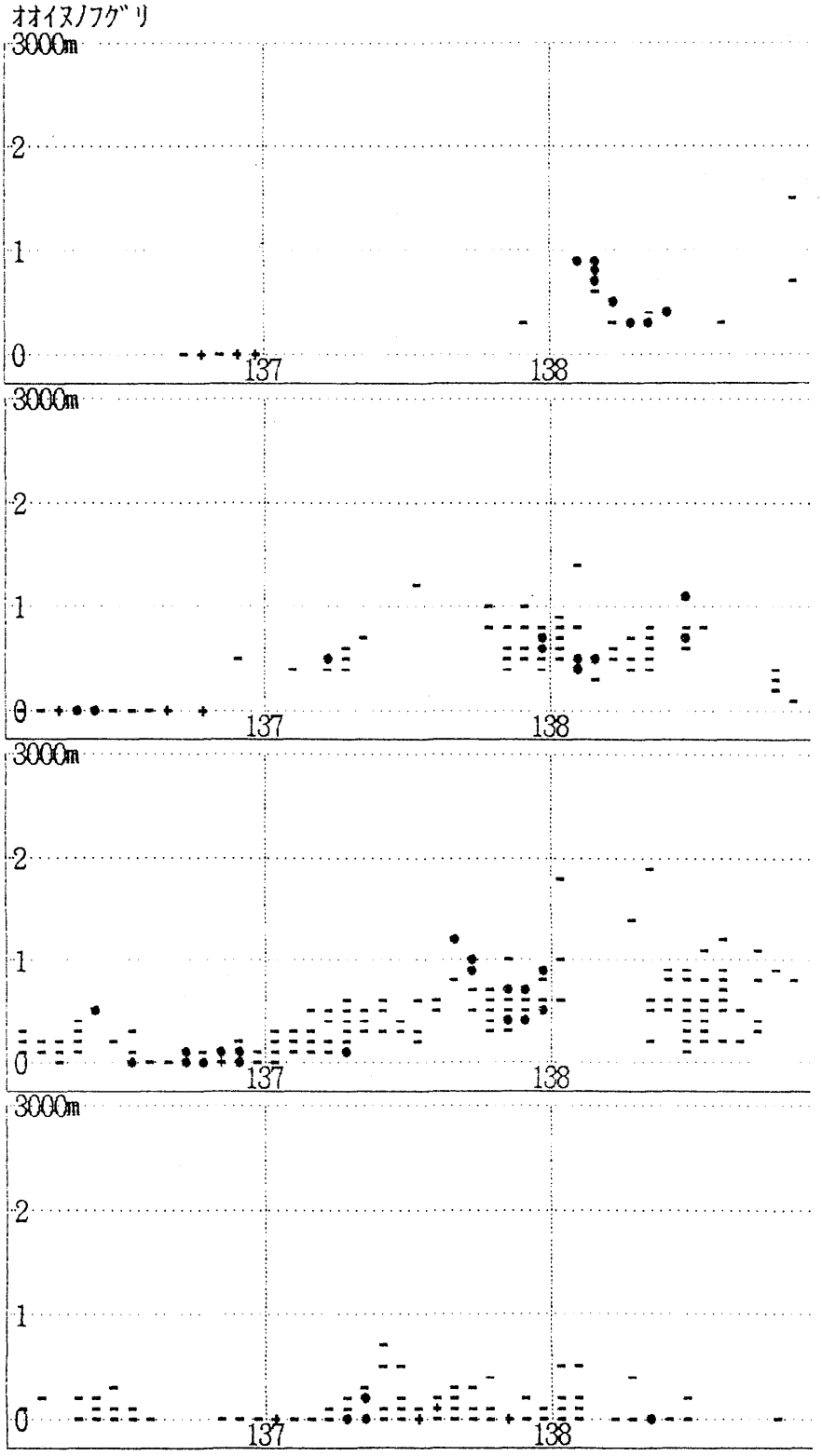

図4. *Veronica persica.*

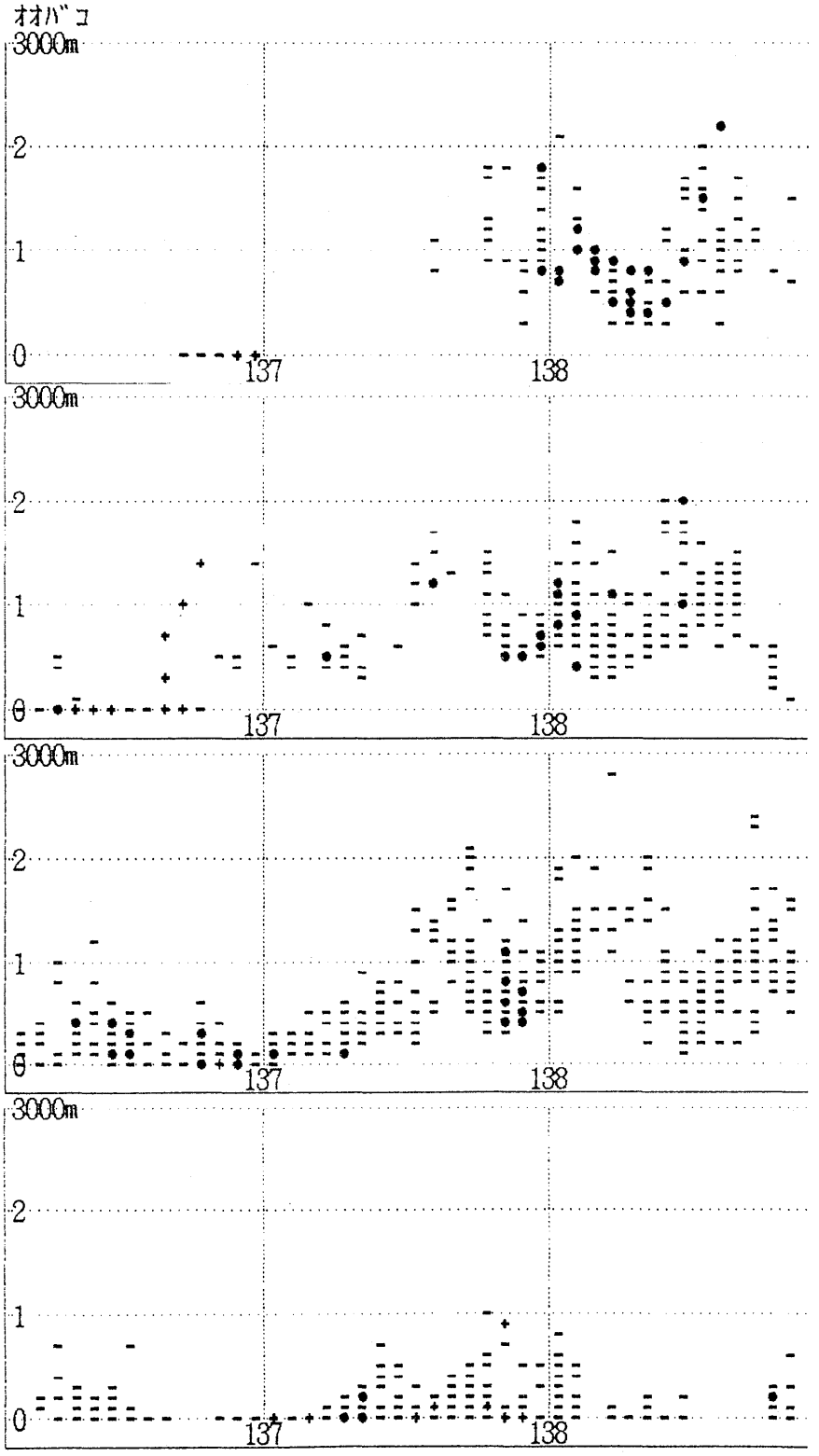

図5. *Plantago asiatica.*

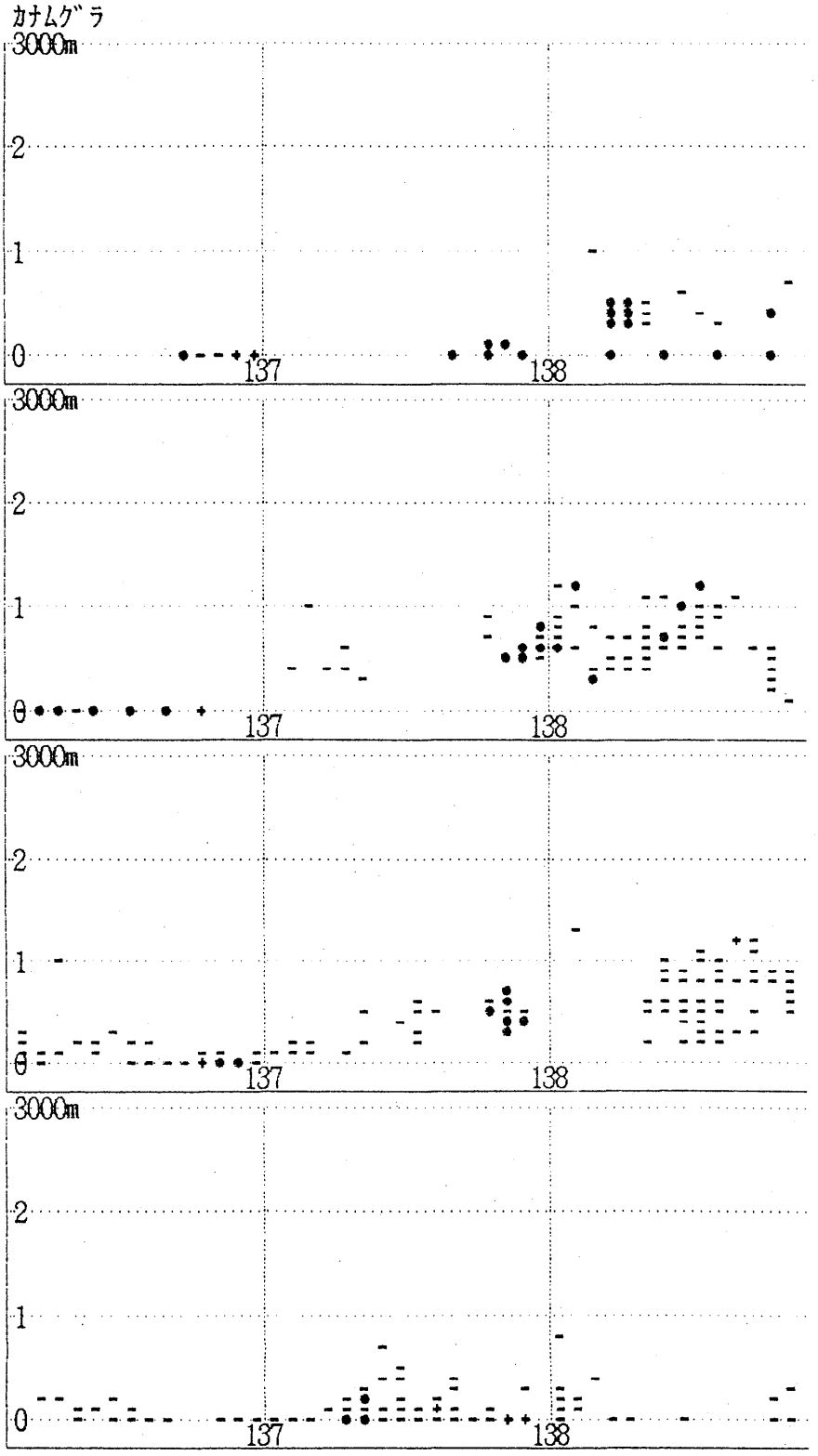

図6. *Humulus japonicus.*

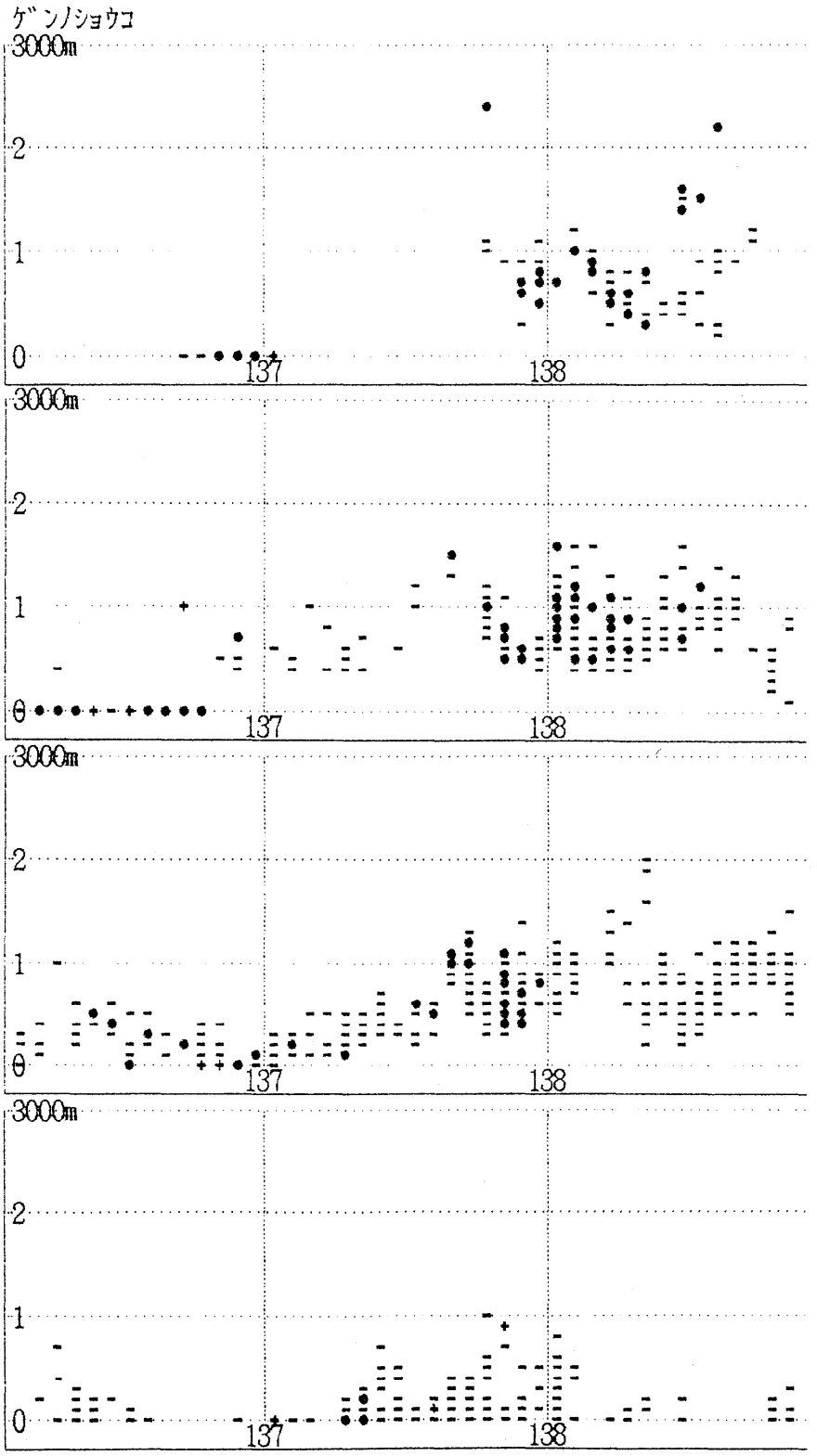

図7. *Geranium thunbergii.*

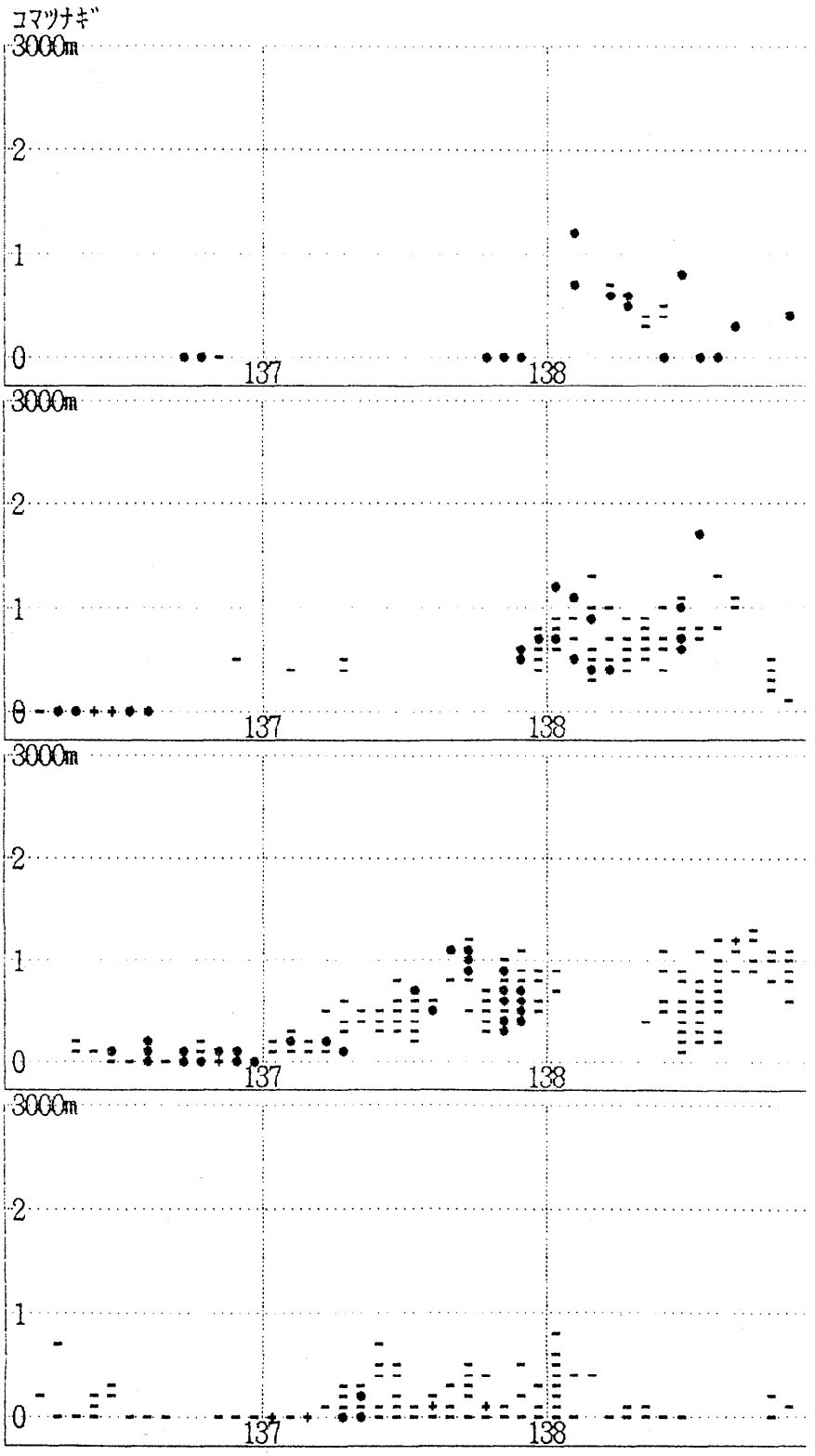

図8. *Indigofera pseudotinctoria.*

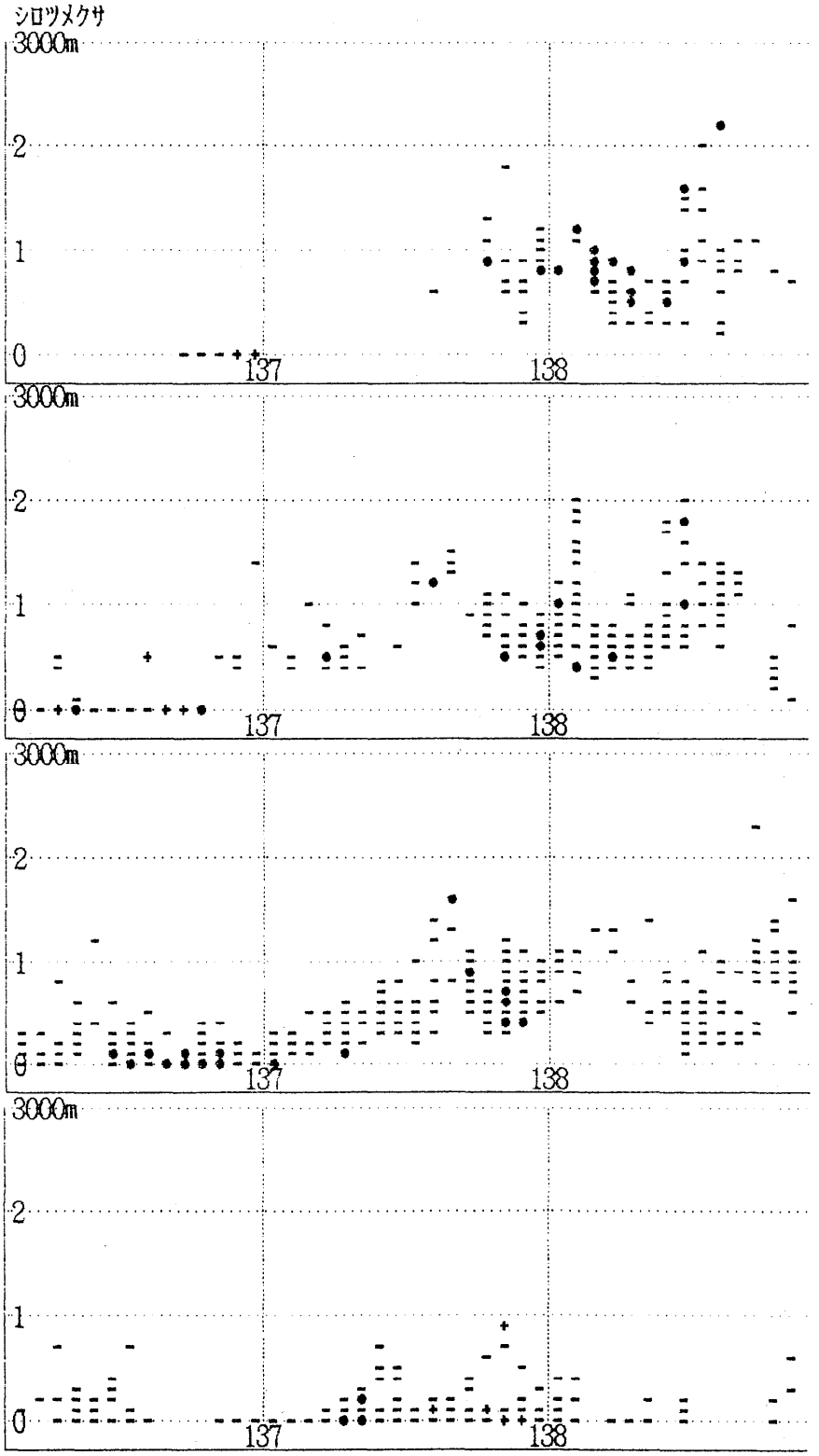

図9. *Trifolium repens.*

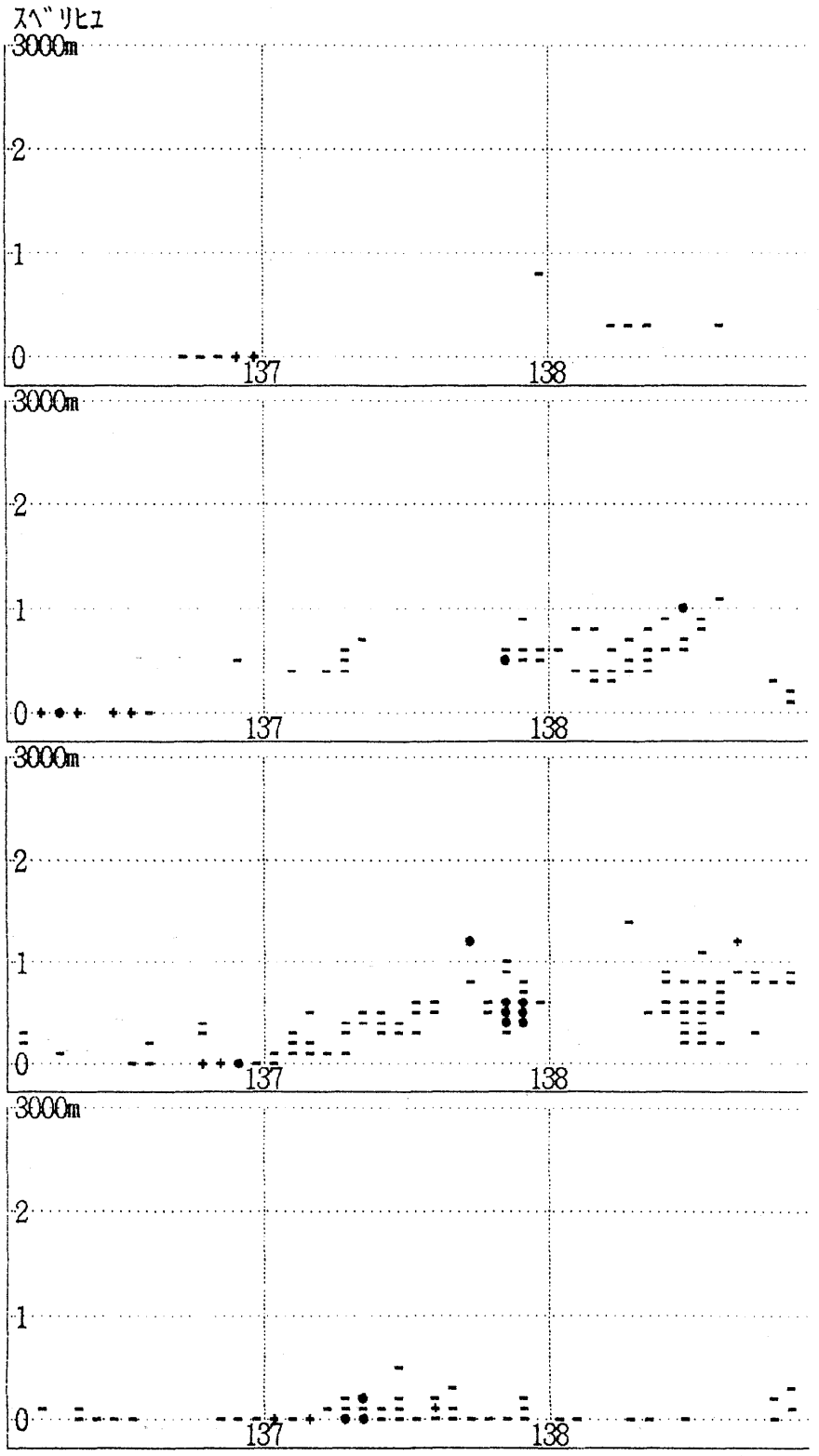

図10. *Portulaca oleracea.*

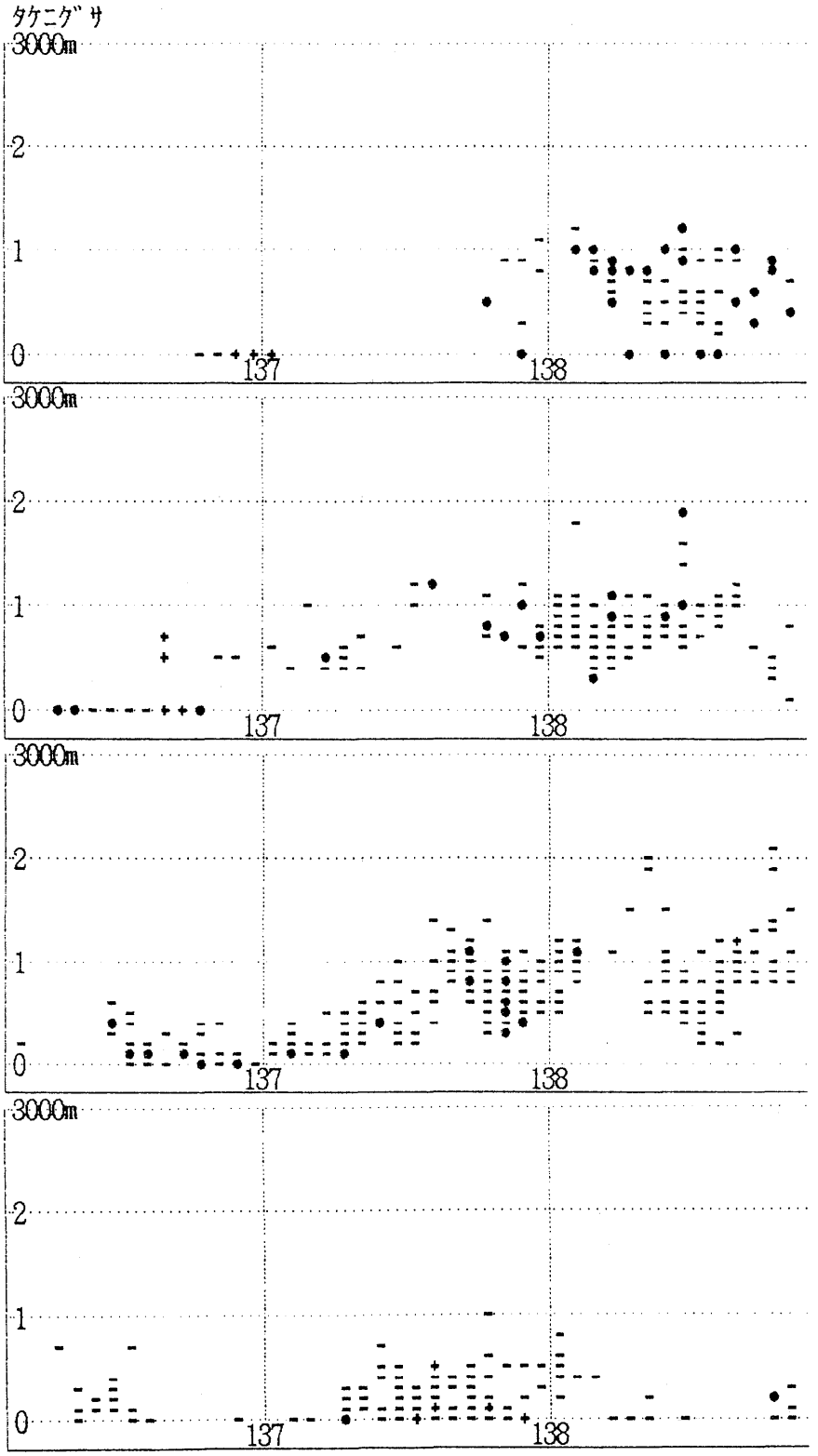

図11. *Macleaya cordata.*

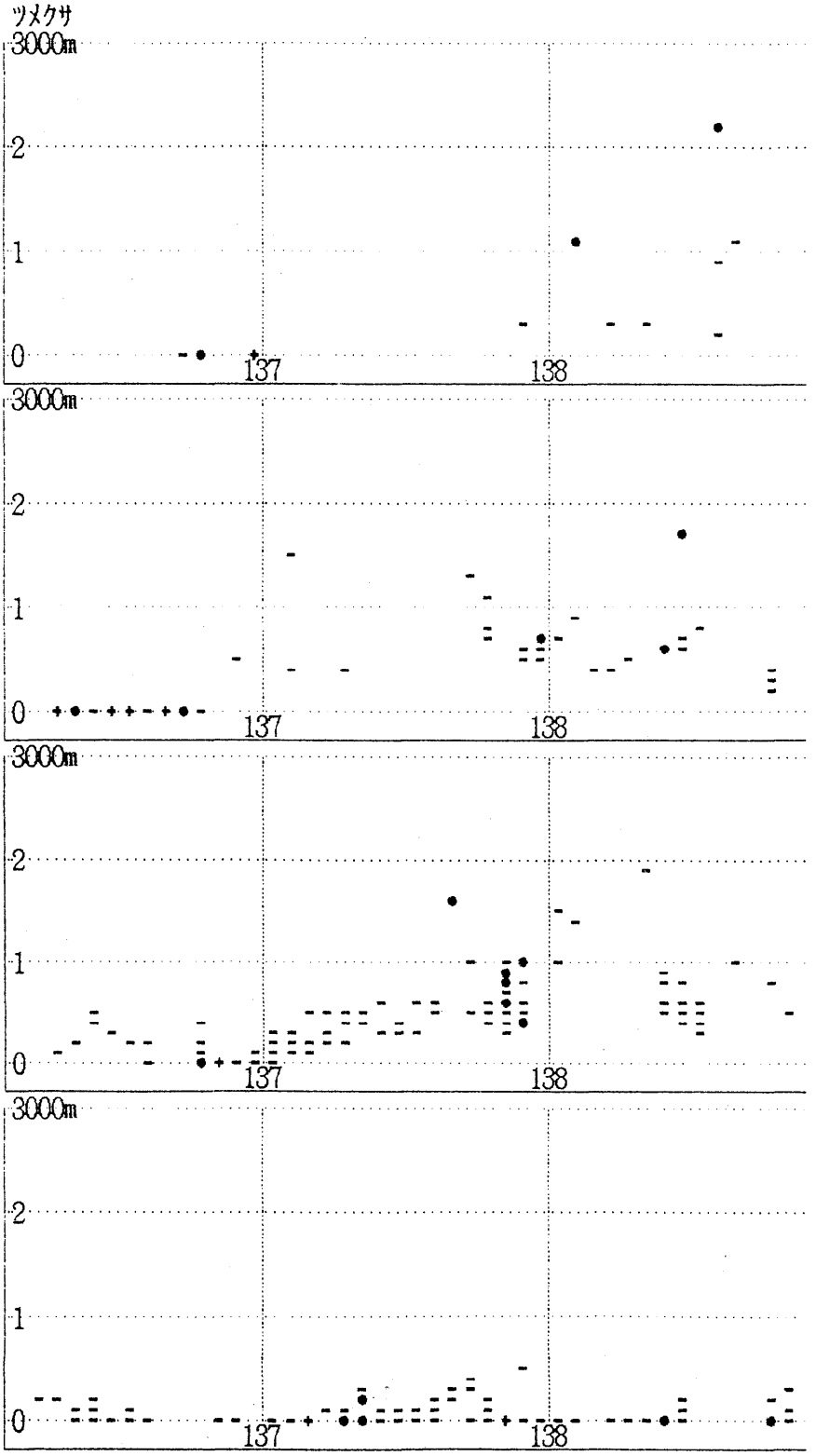

図12. *Sagina japonica.*

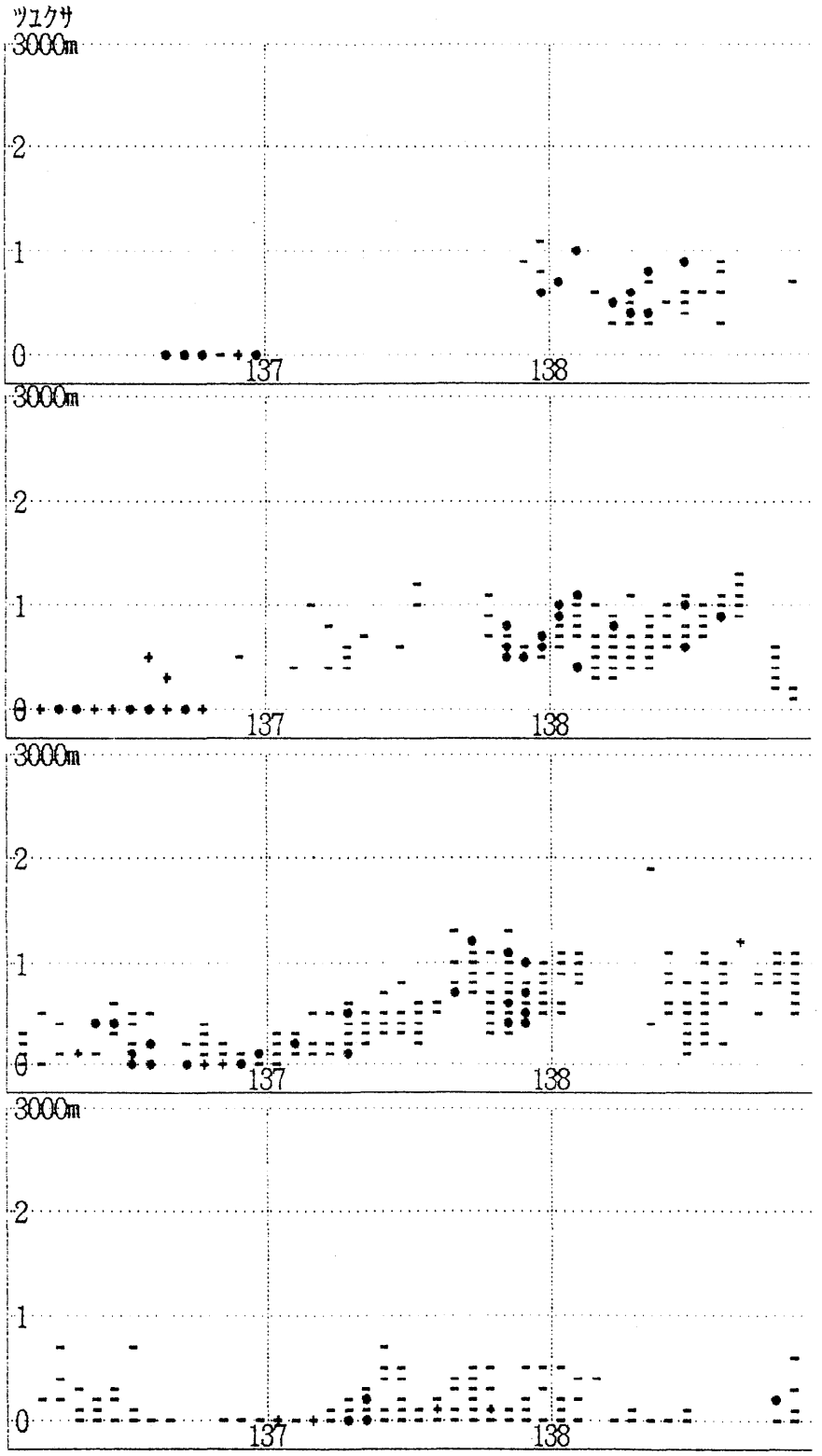

図13. *Commelina communis.*

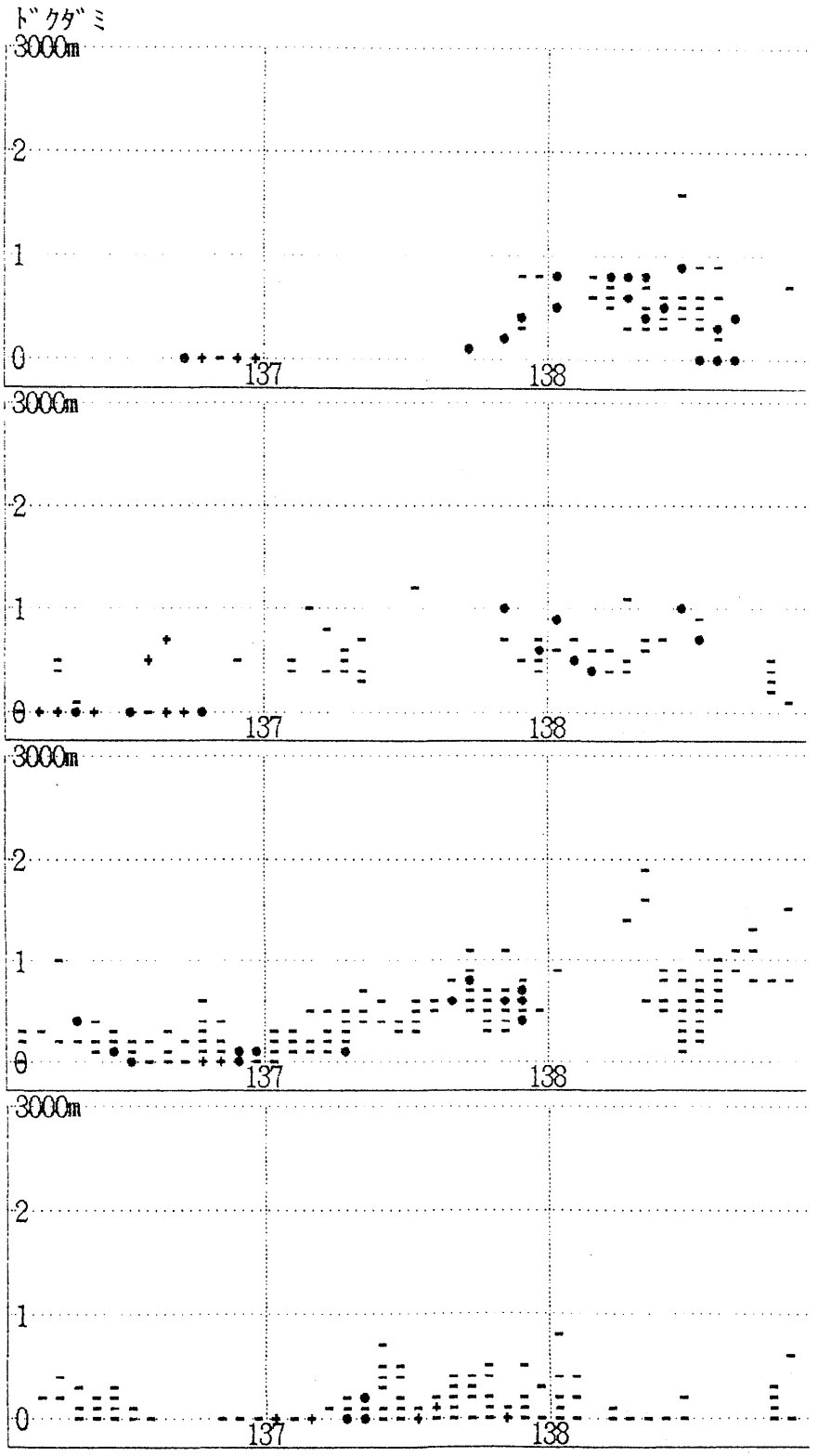

図14. *Houttuynia cordata.*

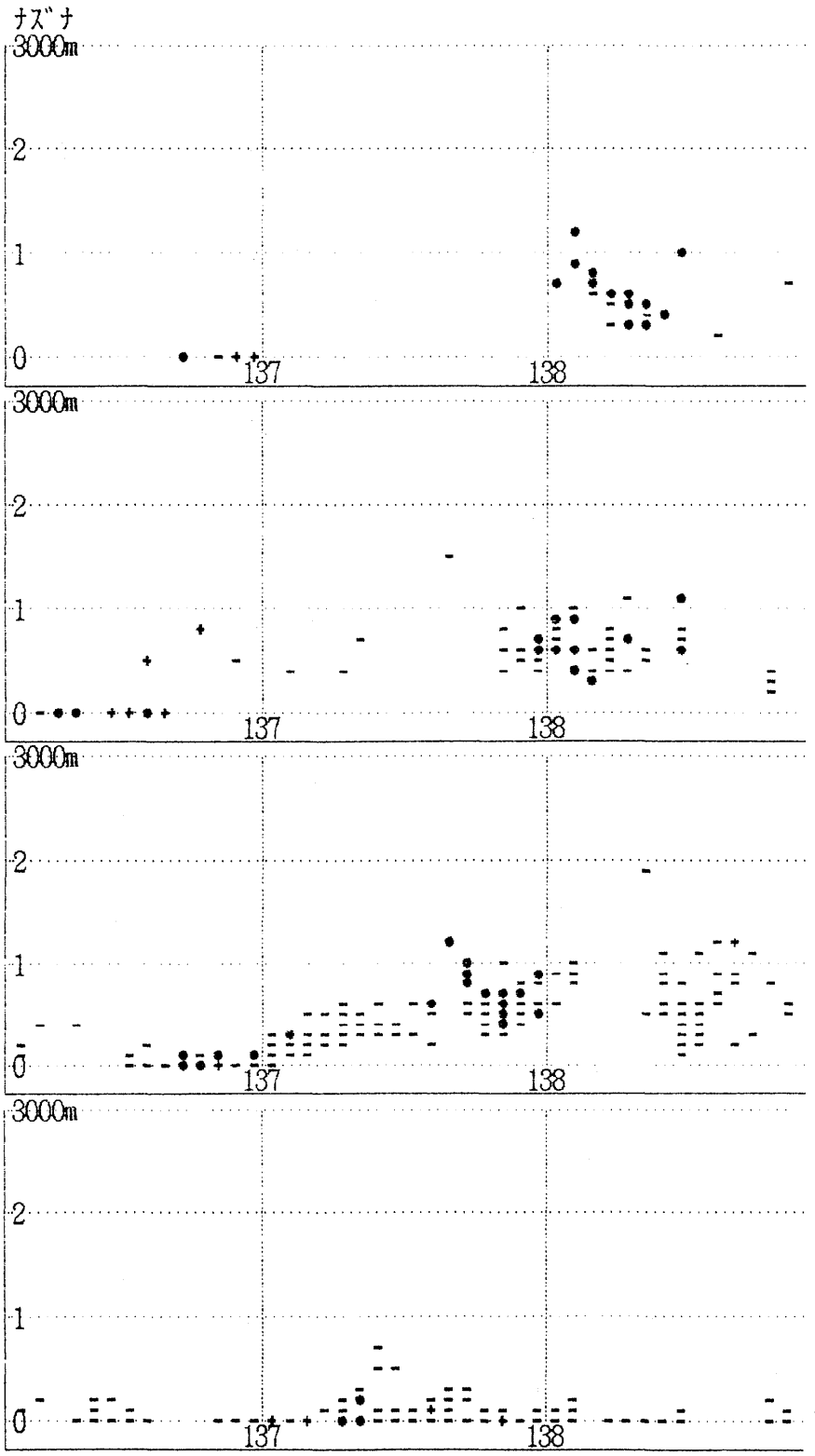

図15. *Capsella bursapastoris.*

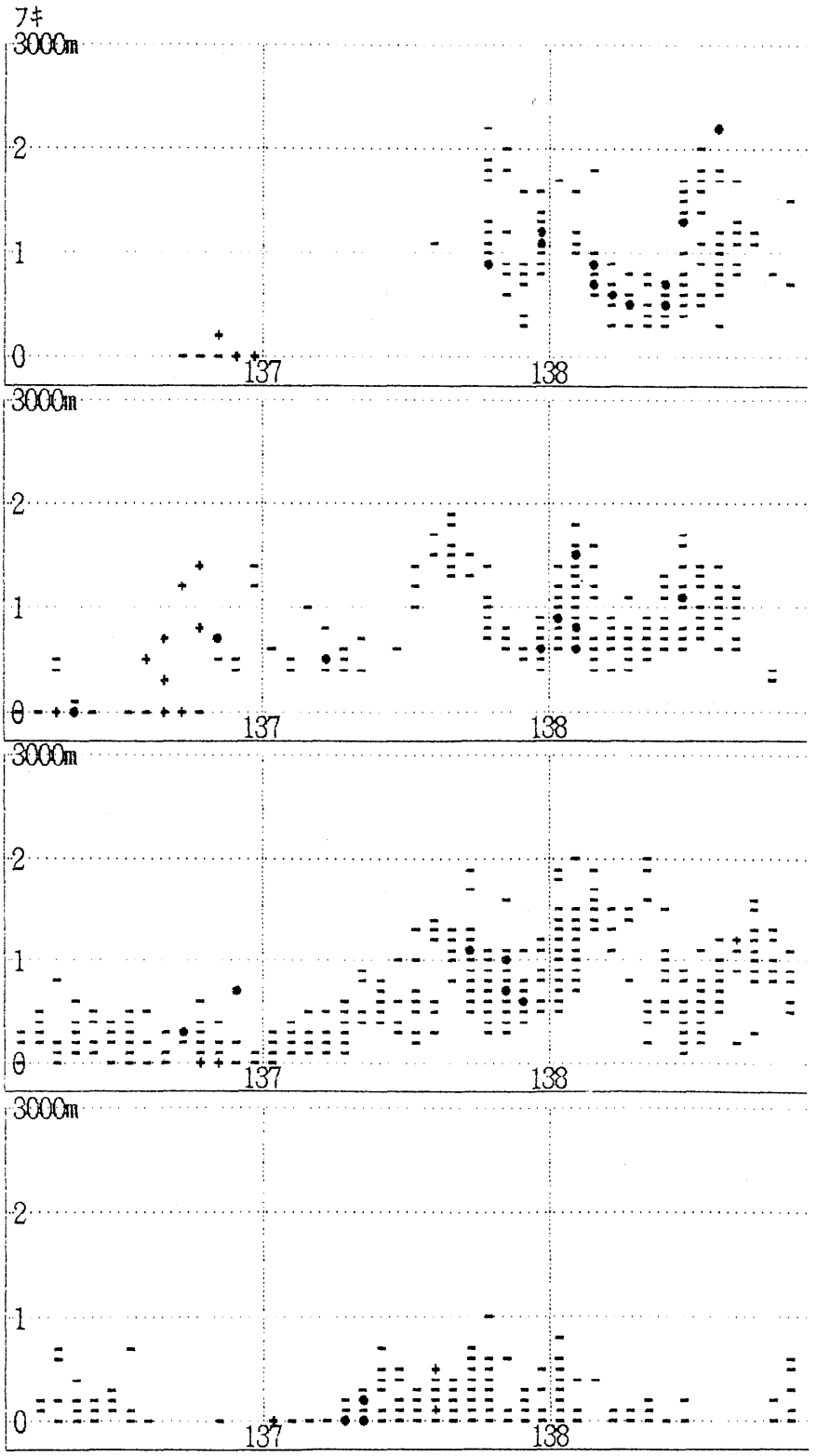

図16. *Petasites japonicus.*

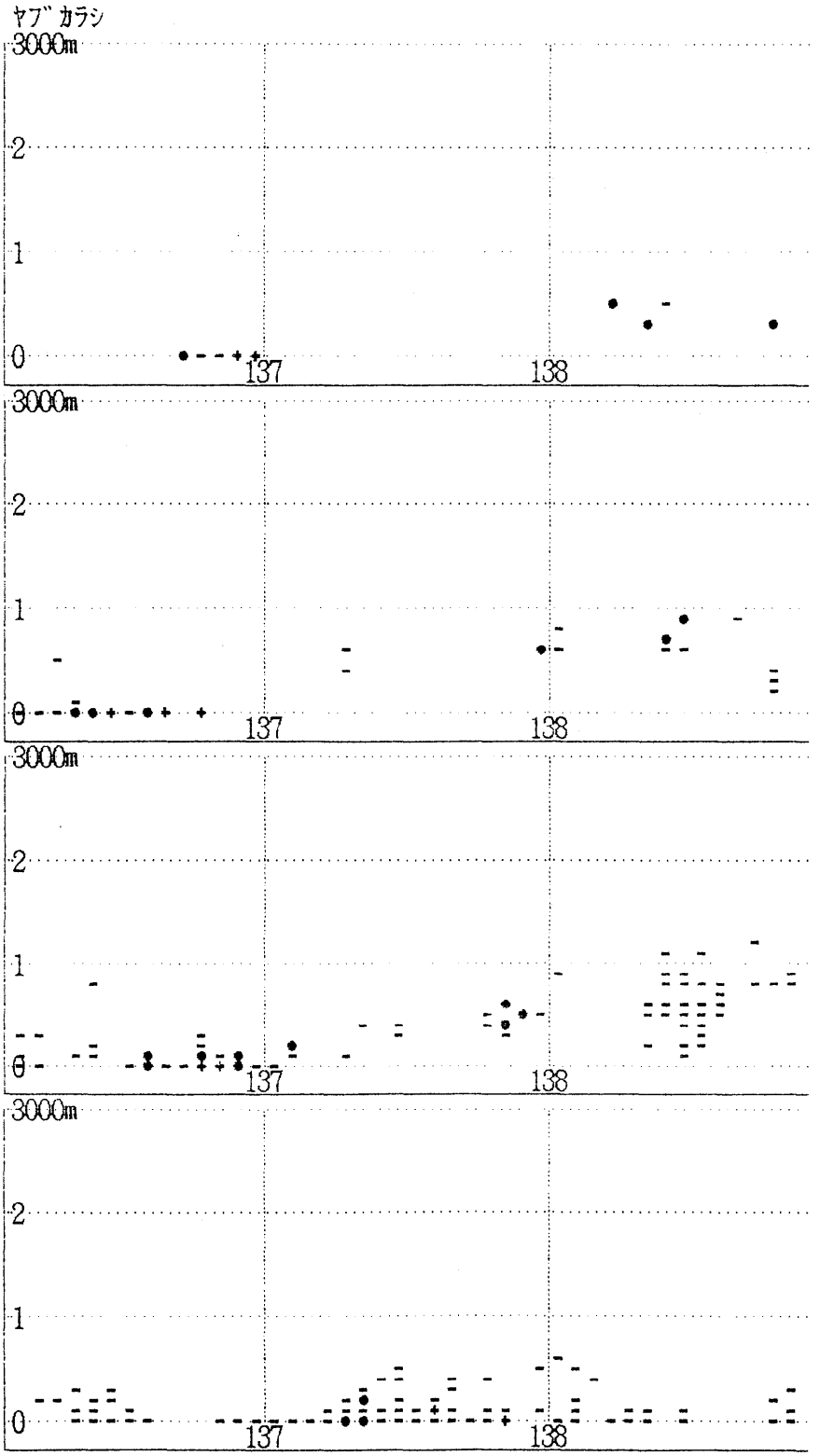

図17. *Cayratia japonica.*